

令和2年度「子供と家族・若者応援団表彰」の選考に携わって

「子供と家族・若者応援団表彰」選考委員会委員長

金藤 ふゆ子

今年度の「子供と家族・若者応援団表彰」では、子供・若者の健やかな成長や困難を有する子供・若者や家族を支援する活動を対象とする「子供・若者育成支援部門」と多様な連携による子育て支援活動や男性も女性も仕事と生活が調和できる社会活動を対象とする「子育て・家族支援部門」の両部門に各府省、都道府県、政令指定都市から63件の推薦がありました。

推薦された各候補者について、6人の選考委員がそれぞれの知見に基づき評価し、選考委員会で議論するほか、一部の候補者については選考委員が現地で直接ヒアリングを行い、その結果をもとに更に議論を重ねて、慎重に審査をした結果、「子供・若者育成支援部門」では、内閣総理大臣表彰として2件、内閣府特命担当大臣表彰として9件を、「子育て・家族支援部門」では、内閣総理大臣表彰として1件、内閣府特命担当大臣表彰として4件を表彰しました。

内閣総理大臣表彰を受賞した活動を見てみると、児童養護施設の子供たちへの「ことばの力をつけて自立を促す」取組支援、困難を抱える子供・若者に対する学習支援や就労支援、子育てしやすい地域づくりのため子供食堂など、長いスパンで見た子供の育成や子供・若者支援に関する今日的課題への対応など、そのどれもが、独創的かつ先駆的な取組と言えます。

また、今回、受賞までに至らなかった活動の中にも優れた活動実績がある取組が多く見られました。そうした優れた活動につきましては、多くの方々の活動の参考となるよう、また、活動内容を広く社会に知っていただけるよう、チャイルド・ユースサポート章として、両部門で合計6件を選定いたしました。受賞された取組に加えて、こうした活動内容も本事例集で紹介しておりますので、是非、多くの方々に御覧いただければと思います。

御存じのように我が国は、現在コロナ禍の中におり、今回受賞(章)した皆様も、それぞれの立場でコロナ禍と直面し様々な制約がある中、子供・若者育成支援や子育て支援等に取り組んでおられました。改めてその活動に深く敬意を表します。

今回受賞(章)された皆様が、これまでの活動をより充実したものとされ、子供や若者の健やかな成長の応援団、子育てと子育てを担う家族の応援団として今後も御活躍されるとともに、本事例集を御覧になった方々が、こうした活動を参考に各地域での取組をさらに推進していかれることを期待しております。末筆となりましたがあわせてこの場をお借りしまして、「子供と家族・若者応援団表彰」の選考にあたり多大な御尽力と御支援を賜りました関係者の皆様に心から御礼を申し上げます。